

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

(株) P U C

2 実施日時

令和元年7月18日(木) 13時34分～13時46分

3 出席者

- ・団体側出席者：小山社長、石井取締役、
石井経営改革推進担当部長(水道局)
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、
小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

東京水道サービスとの統合について、「1+1=2」ではなく、技術革新も含めて大きく飛躍してほしい。

料金徴収システムもICT化によって大きく変化する。東京都だからこそできることが多々あり、東京モデルが全国に波及すると思う。今後のビッグデータやICTの活用についてはいかがか。

○小山社長

今でも多数のデータを保有しているが、更に一步進めていくためには、新たな装置や仕組みが必要かと思う。ビッグデータの活用がもっと進めば、水道の使用実態によって、漏水が起きている、あるいは使っていないので生活実態はどうなっているかなど、様々なことを把握できるようになる。それが新しい都民サービスにつながっていくと思う。

○小池知事

現在、職員は何人ぐらいか。構成はどのようになっているか。

○小山社長

多様な社員がいるが、固有社員は580名位。有期雇用、都のOB、都派遣社員を含めると全体で1,100名位。固有社員については、専ら現場業務を担

うスペシャリストの社員と管理部分を担う社員という構成。基本的に有期雇用はなるべく限定した業務を担い、固有社員が主力として業務を回していく方向で考えている。

○小池知事

会社の統合となると、各層にわたって給与体系が変わり、非常に大きな再編になるかと思うが、最初に方針を立てて給与体系などをきっちり決めていかないと、社員の士気にも関わるだろう。

○小山社長

2つの会社で、労働条件も違う部分があるので、業務に即した労働条件というものを作らなければいけない。賃金や社員の年齢構成に、かなりばらつきがあるので、一気に解決できない部分もある。先々どういう賃金になるか、どういう社員構成にしていくかを、しっかりと示すことが必要だと思う。

○小池知事

これから水道局や東京水道サービスとよく話し合っ、いいスタートを切れるように、環境整備をしっかりと行ってほしい。